

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年8月29日(2022.8.29)

【国際公開番号】WO2020/146362
 【公表番号】特表2022-516945(P2022-516945A)
 【公表日】令和4年3月3日(2022.3.3)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-038
 【出願番号】特願2021-539571(P2021-539571)
 【国際特許分類】

10

A 6 1 N 1/30(2006.01)
 A 6 1 F 9/007(2006.01)
 A 6 1 N 1/04(2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/30
 A 6 1 F 9/007 1 7 0
 A 6 1 N 1/04

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月19日(2022.8.19)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

過去数十年にわたり、これらの眼疾患に対処するために、治療剤の処方と送達システムの開発の両方を含む多くのアプローチが行われてきた。しかし、治療剤の開発には大きな進歩があったにもかかわらず、現在利用可能な治療剤の送達装置やシステムは、主に2つの投与経路：1)局所的な点眼、2)眼内注射に限られる。これらの2つの投与方法は、治療法が厳密に維持される場合には有効であるが、眼の治療部位における治療剤の局在性の維持や、治療剤の投与における患者のコンプライアンスの欠如が主な原因で、患者に長期的な治癒結果をもたらすことができない。そのため、局所点眼薬や眼内注射の欠点を補うために、眼内治療剤の投与方法の改善が求められる。

30

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある(国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む)。

(先行技術文献)

(特許文献)

(特許文献1) 国際公開第2007/050645号

(特許文献2) 国際公開第2009/086112号

40

(特許文献3) 国際公開第2016/118933号

(特許文献4) 米国特許第6,319,240号明細書

(特許文献5) 国際公開第2006/047788号

50